

令和元年度第 1 回
平戸市総合戦略推進委員会
議 事 録

と き：令和元年 6 月 26 日（水）10：00～11：30
と ころ：平戸市未来創造館 会議室 C

開催日時	令和元年6月26日(水) 10:00~11:30
開催場所	平戸市未来創造館 会議室C
出席委員 (50音順、敬称略)	赤木望、岡田眞、佐藤武郎、白石くみ子、田上和利、綱辰幸、都野川直樹、豊増見喜雄、長崎屋容子、町田和正、松山芳弘、馬渡勇一、山邊幸一(13名)
欠席委員 (50音順、敬称略)	福田章、山本洋一(2名)
事務局 (財務部企画財政課)	村田部長、田中課長、藤山班長、浦川主任主事
次第	(事務局)
1. 開会	
2. 委嘱状交付	人事異動により変更があった都野川委員に委嘱状の交付
3. 副市長 あいさつ	町田副市長
4. 推進委員会 会長あいさつ	綱会長
5. 議題 (1)市民アンケートの調査結果について (2)第1期平戸市総合戦略の成果と課題について 委員	(事務局説明) ●質疑・意見等なし (事務局説明) ●質疑・意見等 保護者と話をする中で、子どもが保育士になりたいと言っているが、市内の保育所は、女性のみで男性は雇用しないことになっていると聞いた。今どきそのようなことは、おかしいのではないかと話をしたと

	<p>ころだが、実際はどのようになっているのか。平戸市の保育所が男性を雇用しないのであれば、その生徒は市外に出て行くしかない。高校としても1人でも多く地元に残したいと考えている。そういった部分を考えていただきたい。</p>
委員	<p>平戸市でも、男性の保育士は何人も雇用されている。男性の雇用について保育所の理解はあると思っている。</p>
事務局	<p>昨年11月に平戸市の出生率の高さについて、内閣官房が調査にきた。その際、保育所では保育料の軽減により預ける方が増え、保育士不足になっているとのことであった。保育士が全体的に足りていないのが現状である。</p>
委員	<p>男女の雇用機会の均等により、男性だけの求人は出せないようになっている。情報がきちんと伝わっていないのではないかと思う。</p>
委員	<p>市民アンケートでは、「働く場がない」との意見が多かったということであったが、求人自体は1倍を超えている。しかし、求人と求職のミスマッチが非常に大きい。ハローワーク江迎の今年3月の数字であるが、事務職の求人倍率は、0.33倍しかない。求人57人に対して、仕事を探している人が174名いる。このように事務職が少ないことにより、働く場がないと思われるかもしれない。一方、製造業関係は求人164人に対して、求職者86人、求人倍率は1.91倍となっており製造業関連は求人がたくさんある。また、看護師等も求人倍率が1.83倍となっており、求人の総数はあるがミスマッチが大きく希望される職業がない状況にある。</p>
会長	<p>特に女性には事務職、オフィスワークの求人が必要。女性が残らないと自然増にもつながらない。</p>
委員	<p>県下全体をみても事務職の希望が多く、特に女性のニーズが高い。コ</p>

	<p>ールセンターやデータセンターについては、長崎市内を中心に誘致が進んでいるが、平戸は弱い。平戸市にも一度コールセンターができたが人が集まらなかった。理由の一つは、アウトバウンド（コールセンター側から電話をかける営業等）のコールセンターでなかなか難しかった。今長崎市に来ているコールセンターは、インバウンド（顧客側から電話をかける予約等）であり、このようなコールセンターを平戸にも誘致したいという事で、企業誘致担当にも伝えている。空きオフィスがあれば誘致をしたい。全国的な人手不足の中で、本市にもコールセンターについては、ちよくちよく話がきている。</p>
<p>委員</p>	<p>兼業農家をしているが、今、農協の支店の統廃合の話がある。支店の統廃合が行われると農協離れ、農家離れが進むのではないかと危惧している。今ですら、跡継ぎがない中で頑張っているのに、農協が遠ざかっていくとますます農家の後継ぎができないのではないかと思います。平戸市の農業政策にも影響があるのではないかと。</p>
<p>事務局</p>	<p>今後の農業について不安があるとのことであるが、担当課と話をする中で、福岡で行っている就農フェアでは雇用型の農業に需要があるとのことであった。新たに農業を始めるとなると個人では難しい部分があるが、本市の重点プロジェクトに農業の法人化や協業化の推進を挙げており、雇用型の農業により新たな就農者を増やしていければと思っている。また、今年度、本市の農業振興計画を策定する予定となっている。今回の農協の支店の統廃合を踏まえた形で計画策定されると思われるが、第2期総合戦略についてもそことリンクした形で策定していく。今のような危惧についても、農林課と共有しながらどうしていくべきか協議していく。</p>
<p>委員</p>	<p>市民への情報発信を今以上にきっちり行ってほしい。防災無線で周知等は行っているが、回覧板で足りない部分を公民館に事前告知等を行うともっと伝わるのではないかと思います。平戸市には、魅力的な企業も多いが市民に伝わっていない。城泊の内容についても、市民の間では</p>

	うわさが流れているので、しっかりとした情報発信をお願いしたい。
事務局	情報が伝わっていないというのは感じている。広報に載せたり、回覧を回しているが、さらにどうしたらいいのかといったところまでは、答えが出せていない。今後検討していきたい。
委員	介護職の人材が少ないということで、今度「ケアニン」とう映画を上映するというのを福祉課の職員から聞いた。平戸北部地区だけではなく、各地区で上映してもらえば、介護職への理解が深まり、働く人も増えるのではないかと思う。また、25歳までに介護職についたら報償金が出ると聞いたが、報償金については25歳までの年齢制限をしているのか。
事務局	25歳以下で市内事業所に介護職として就労するというので、今のところ年齢制限をかけさせていただいている。
委員	そのような情報をしっかりと出してほしい。
委員	平戸市は、新聞に求人チラシは入っているのか。佐世保市では、1枚に求人がたくさん載ってあるチラシが週1回ぐらい入っているが、平戸市ではあまり見ない。そのようなものがあれば、市民もタイムリーに情報を得ることができるのではないか。
委員	民間の求人情報会社が広告料をとってやっている。求人の内容はほとんど佐世保市近郊かなと思う。そういった物の平戸版が無料でできれば。
委員	先ほど話が合った平戸市へのコールセンターの問い合わせというのは、規模的には何人ぐらい。
委員	ニーズがあるのは、70～80名ぐらい。市内のオフィスでコールセンタ

	<p>ーとして使える場所は限られている。LAN配線を床の下に希望されることもあり、廃校になった学校とかがすぐに使えるかというところではない。もともとオフィスであったところであれば可能性がある。空きオフィスがあれば、誘致することはできると思う。求人との関係は、以前、平戸市は電話番号案内やサービスを民間企業と一緒に作ったことがあるので、そういうやり方ができないことはない。また、ハローワークインターネットで8割が公開求人であるので見ることはできる。ただ、ハローワークインターネット自体知らない方も多いためではないか。</p>
<p>委員</p>	<p>ハローワークの求人もインターネットに出してはいるが、高齢の方にとっては難しい部分もあるし、インターネット上にあるといった情報が伝わっていないという事もある。</p>
<p>会長</p>	<p>情報が伝わっていない部分については、行政のほうで原因と結果を調べていただいて改善していただきたい。オフィスワークのインフラの問題についても検討をお願いしたい。</p>
<p>(3)第2期平戸市 総合戦略の成果 と課題について</p>	<p>(事務局説明)</p>
<p>委員</p>	<p>●質疑・意見等</p> <p>基本目標を増やすことは賛成。ただ、「2. しごとをのばすプロジェクト」と「3. しごとをつなぐプロジェクト」の目標を達成するための方策の分けというか詳細な部分が見えてくれば、新たに基本目標が追加になったなど分かると思うので、目標を達成するための方策・施策の分けをしっかりと検討していただきたい。また、しごとを増やす、子育て、産業の育成の全てに共通する部分として市民の所得を上げることが重要だと思う。新体系には、そういった文言がない。所得が上がらないことが、子育てしにくいこと原因のひとつだと</p>

委員	<p>思っている。そのような中、全体を上げることも大事であるが、私どもが国の補助金を頂いて実施している事業では、何業者かに絞って売り上げを5%上げるといった目標を掲げている。KPIの設定にしても、例えば売り上げを上げる、利益を上げる、といったモデルとなる業者を絞り、仕組みづくりを行うことも必要ではないかと思う。平戸市としても所得を上げるといった観点も重要ではないか。</p>
事務局	<p>おっしゃるとおり、先ほども説明をさせていただいたが、所得を上げるというのは、KPIとして取り上げていかなければいけないと思っている。その方向で内部でも検討していきたい。</p>
会長	<p>基本目標の2と3の区分けについては、庁内でもできているのか。</p>
委員	<p>商工業の振興については、「産業の振興」か「産業の維持」かで庁内でも調整ができなかったのが現状のまま上げさせていただいている。</p>
委員	<p>先ほど、国から策定要領等が示されていないとのことであったが、国の方針というのは、30年前から中央集権を地方分権にとかけ声だけかけている。しかし、現在になってもより一層中央集権型の社会になっているのが実情である。地方は切り捨ててもいい、何か人権がないような国の方針である。私は、漁業関係であるが、国は「資源管理型の漁業を推進して漁業の所得を向上させる」といっているが相反している。資源管理をすれば水揚げは減る。水揚げが減ってどうして漁業所得があがるのか。それが国の考え方である。平戸市としてこうした戦略を練ることは大変に重要であるので、私は平戸市として独自性のある戦略を考えてほしい。</p>
事務局	<p>独自性といった部分では、本市の人口減少対策は、国よりも先行して平成26年から取り組んできたこともあり、地方独自の取組みをしないといけないと思っている。国の動きを参考にしつつ、委員の皆さんからご意見を頂きながら平戸市独自の計画を策定していかなければなら</p>

	<p>ないと思っている。</p>
会 長	<p>基本目標に「産業の維持」を追加するといったことに対して、ご意見を頂きたい。</p>
委 員	<p>観光振興の部分でいくと、受入環境をよくしていかなければならない。そのような意味では、「産業の維持」というのは重要になってくるのではないかと思う。ここに上げてある基本目標すべてが関係してくるかわからないが、特に定住・移住の促進の部分では、受入環境を改善していくことは重要なことである。まちによっては、若い人を受け入れて交流人口を増やすための仕事をお願いするまちが増えてきているが、明確に「産業の維持」といった部分を出すのはすごくいいのかなと思う。</p>
委 員	<p>定住移住にしてもそうだが、市の各課の事業の横軸がばらばらではないかと思う。観光にしてみれば、まちづくりとか農業漁業とか全体で取り組んでほしい。今後、基本目標にそって事業を作っていくと思うが、もう少し横軸を明確にやっていく必要があるし、そうすることにより目標数値やK P I も達成していけるのではないかと思う。</p>
委 員	<p>産業の継続というのは、それぞれの事業者さんが次の世代に事業を繋いでいくというのが大前提あると思うが、個人事業者については自分達で終わりといったムードが漂っている。個人の自由だと言われればそれまでだが、それではまち全体が沈んでしまう。マーケットは縮小しており、同業者が全員沈むのではなく一緒にやって組織を大きくして維持していく等いろいろなことが考えられる。そのようなことに地域全体が関与していかないといけないと思う。新たに基本目標を追加しているので、官民一体となって考えていかなければいけない。また、就労機会の拡大とあるが、企業によっては、本当に人が集まらなくて困っているところがある。そのような中、補助金関係で雇用を条件にしているものがあるが、雇用の条件は時代に逆行している気がする。</p>

	<p>る。現状、募集しているのに来ない状況があるので、雇用ではなく所得の向上を要件にする等、現実的な問題に置き換えてやっていくべきと思う。</p>
事務局	<p>中小企業対策の支援の中で、確かに雇用条件の設定はあって、先日行われた議会の中でも議論されていることもあるので、担当課と事業内容の見直等を行っていく。</p>
事務局	<p>先ほどの事業の横軸については、庁内で市長をトップとするずっと住みたいまちまち創出本部を組織しており、そこで軸がぶれないような協議をしていきたいと考えている。</p>
委員	<p>DMOの組織化にしても、関係するのは観光だけではないと思うので、その辺を含めてしっかりと横軸を明確にしていくと市民に対しての情報のリリースも分かりやすくなるのではないかなと思う。</p>
委員	<p>同業種または他業種で合併をして企業を強くして所得を上げていくことを官民一体となって推進していかないといけない。今後、労働力の減少や労働者の高齢化により、事業が縮小して廃業してしまうことが多くなると思うので、「産業の維持」を入れることは賛成。</p>
会長	<p>基本目標3の「産業の維持～しごとをつなぐプロジェクト～」入れるということで、第2期の施策体系は事務局の案でよろしいか。</p>
委員	<p>意義なし。</p>
会長	<p>基本目標については、事務局案のとおりとし、目標を達成するための方策については、今回頂いた意見を踏まえて事務局のほうで整理をするということで進めていく。</p>

<p>(4)その他</p> <p>事務局</p> <p>事務局</p>	<p>次回については、9月下旬を予定している。平成30年度事業の評価検証がメインとなるが、ボリュームが大きいので、今年は9月下旬と10月上旬の2回を予定している。</p> <p>横軸の問題は、私も非常に感じている。縦割りではなく目標に向かって職員一丸となってやっていかなければいけないと思っている。産業の維持については、事業承継も含めてしっかりやっていかなければならない。農協の支店の統廃合についても、ニーズが高い事務職が市内からなくなるということであり、駐車場の問題等で解決できることはやっていきたいと思っている。所得を上げることは非常に重要であるが、中小企業では給与表がないところが結構ある。40歳になったときに所得がいくらあるのかといったロールモデルが明確になると採用段階で応募することもある。そこについても、データを整理しながら行っていきたい。</p> <p>会議終了</p>
-------------------------------------	--